



伊丹市では、基幹浄水場である千僧浄水場（浄水能力 90,000 m<sup>3</sup>/日、年間電力使用量約 578 万 kWh）にて約 95%の市民給水をまかなっています。そのため、市の施設としては千僧浄水場が一番電力消費が大きいという問題がありました。

すでに上下水道局庁舎の太陽光発電や省エネ空調への変更など、できる限りの取り組みをされている中、更なる脱炭素化への貢献として踏み切ったのが、上下水道局庁舎・浄水場で使用する電力そのものを、再生可能エネルギー由来 100%のものに転換することでした。（※同時に市役所庁舎も再エネ 100%に転換）

具体的な手続きは、電力調達の際の仕様書に、非化石証書等により再エネ 100%と証明することを要件として追記しただけ。一般的には、通常電力に比べて再エネ 100%電力の方がコストが高くなることから、価格が上がるのを覚悟で要件追加に踏み切ったそうですが、再エネ以外の調達条件も変えたおかげもあって、従来よりも低い価格で決定しました。

伊丹市では R3.9 から再エネ 100%電力に切り替わっていますが、日常業務においてこれまでとの違いは全くないとのこと。一方で年間の温室効果ガスが 3施設（市役所、上下水道局庁舎、浄水場）で約 2,550t、浄水場単独で約 2,000t（!）も削減できています。

給水人口 5 万人以上の浄水場での再エネ 100%の導入は、全国初の取り組みでもあります。詳細については伊丹市・伊丹市上下水道局 HP でも広報されて

いますので、是非ご確認ください。

伊丹市 HP>市役所本庁舎等の3施設で再エネ100%電力を導入！！

<https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/SOGOSEISAKU/GREEN/coolchoice/24838.html>

伊丹市上下水道局 HP>環境に配慮した取り組み

<https://www.water.itami.hyogo.jp/shokai/31237.html>

再生可能エネルギー由来の電力には限りがあるのが現状ですが、もしすべての水道施設に再エネ100%電力を導入していければ、水道業界としてSDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」を達成しつつ、目標13「気候変動に具体的な対策を」にも貢献できることとなります。

省エネ・発電に加える新たな選択肢としての「再エネ電力の活用」について、検討されてみてはいかがでしょうか。

■□

---

発行：兵庫県保健医療部生活衛生課

tel：078-362-3256

E-mail：[seikatsueiseika@pref.hyogo.lg.jp](mailto:seikatsueiseika@pref.hyogo.lg.jp)

～Special Thanks～

伊丹市上下水道局のみなさま

□■

---

注釈 1) 令和3年度水道統計より  
2) 世帯平均300kWhで計算